

〔事業者の理念・方針、期待する職員像：小規模保育事業〕

1	理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	1）健康・安全・安心に過ごす 2）一人ひとりの個性を大切に 3）友達とのかかわり 4）豊かな経験 5）保護者との信頼関係
2	期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）
	（1）職員に求めている人材像や役割
	一人ひとりの子どもの気持ちを大切にし、明るい笑顔を絶やさず保護者との信頼を保ち、一日一日を大切にし、子どもとともに成長していける保育者
	（2）職員に期待すること（職員に持って欲しい使命感）
	子どもが日々安心安全に過ごせるよう適切な援助や保育ができ、個性を伸ばせるよう環境設定や創意工夫ができる職員 いつでも向上心を持ち、保護者との関係を大切にし、気持ちに寄り添い携わることのできる職員

〔利用者調査：小規模保育事業〕

調査対象	10月1日現在、保育園を利用している全世帯を対象に調査を実施しました。兄弟姉妹のいる世帯は、1世帯として扱い、一番年齢の低いお子さんを対象として回答してもらいました。		
調査方法	アンケート調査は無記名方式。配付は事業所を通じて保護者へ手渡しし、回収は密封して園に設置した回収箱に投函してもらい、取りまとめました。調査結果は選択回答だけでなく、記述式の回答についても匿名性に配慮してまとめ、保育園に報告しました。		
	利用者総数	19	
	利用者家族総数（世帯）	19	
	共通評価項目による調査対象者数	19	
	共通評価項目による調査の有効回答者数	17	
	利用者総数に対する回答者割合（％）	89.5	

利用者調査全体のコメント

総合的な感想では、「大変満足」7名、「満足」9名、「どちらともいえない」1名であり、94%の利用者から高い満足を得ています。毎日の保育サービスにおける「子どもの心身の発達」、「子どもの興味や関心」、「園における食事・おやつ」、「自然や社会と関わる機会」、「安全対策」、「参加しやすい行事日程の配慮」、安心・快適性における「清潔で整理された空間」、「職員の接遇・態度」、および利用者個人の尊重における「子どもの気持ちを尊重した対応」、「保育内容に関する説明」でそれぞれ90～100%と高い満足度がうかがえます。自由意見では、「いつも職員の皆さんが優しく子どもに接してくれて大変安心して毎日仕事に行けています」、「3歳以降も通いたいです」、「職員の皆さん、花丸です」など園に対する感謝の声が寄せられています。一方、「普段の姿を公開してもらえる機会などあればと思います」、「子どもがどんな風に過ごしているか見てみたい」などの声もありました。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	17	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「色々な道具を使った作業活動や外遊びを行っていただきありがとうございます」などの声がありました。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	17	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「家で楽しそうにしている物を職員が気づいてくださいます」などの声がありました。				

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	17	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「家でなかなかできない工夫のある料理や使っていない食材・おやつを使っただけです」などの声がありました。				
4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	16	1	0	0
94%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「季節毎の行事が楽しそうです」などの声がありました。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	12	3	1	1
71%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「対応してくれています」などの声がありました。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	16	1	0	0
94%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「月1回いろいろなことを想定して避難訓練を行っています」などの声がありました。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	16	1	0	0
94%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「お手紙で知らせていただきわかりやすいです」などの声がありました。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	14	3	0	0
82%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「連絡帳に書くと必ずそれに対しての返信をくれます」、「個人面談のような時間があると良いと思います」、「園生活は満足していますが、親子参加の行事が少ないです」などの声がありました。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	17	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。特にコメントはありませんでした。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	16	1	0	0
94%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「一人の職員を除いて」などの声があった。				

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	15	2	0	0
88%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「体調悪い時、いつも電話で受けています」などの声があった。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	14	1	0	2
82%の方が「はい」と回答しています。特にコメントはありませんでした。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	16	1	0	0
94%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「公開保育がないので連絡ノートでしかわかりません」などの声があった。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	14	1	0	2
82%の方が「はい」と回答しています。特にコメントはありませんでした。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	17	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。特にコメントはありませんでした。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	14	1	1	1
82%の方が「はい」と回答しています。特にコメントはありませんでした。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	10	2	1	4
59%の方が「はい」と回答しています。特にコメントはありませんでした。				

〔組織マネジメント：小規模保育事業〕

Ⅰ 組織マネジメント項目（カテゴリー１～５、７）

No	共通評価項目		
1	カテゴリー 1		
	リーダーシップと意思決定		
	サブカテゴリー 1 (1 - 1)		
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 6 / 7
	評価項目 1 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）を周知している 評点（〇〇）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	評価項目 2 経営層（運営管理者含む）は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事務所をリードしている 評点（〇●）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	○非該当
	○あり ●なし	2. 経営層は、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	○非該当
	評価項目 3 重要な案件について、経営層（運営管理者含む）は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点（〇〇〇）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	○非該当
	●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○非該当
	●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	○非該当
	カテゴリー 1 の講評		
	<u>法人の理念を明確にして周知しています</u> 法人が目指すところを事業の目的、運営方針・理念として分かり易く明示しています。保育理念を4項目に掲げ、個々の項目に説明を加えて明示しています。保育理念を具現化して、保育園の全体的な計画に反映しています。理念や目標を園内に掲示して職員会議で職員に伝えています。園の「入園のしおり」に基本理念を明示して保護者などに伝えています。		
	<u>法人の責任者と園長は自らの役割と責任を職員に伝えています</u> 年度初めに職員に理念を実現するための方向性を職員に伝えています。園長は職員と話し合い、理念実現に向けた保育		

	の計画を作成しています。計画を作る際には、職員全体で話し合い、現場の職員の意見を取り入れています。園長、主任などの役割や責任は文章などで提示していませんが、話し合いの中で確認しています。		
	<u>重要案件については実情を踏まえて決定し、関係者に周知しています</u> 重要案件については毎月の職員会議で話し合い、実情を把握しています。小規模保育園でもあり、決定においては職員と話し合い、決定する経緯も職員と共有しています。職員も限られており、園長が中心になって十分な話し合いが行えるため、周知徹底を図ることができます。決定事項は園内に掲示するとともに、園だよりで保護者にも伝えています。		
2	カテゴリー 2		
	事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
	サブカテゴリー 1 (2 - 1)		
	事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	6 / 6
	評価項目 1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している 評点 (○○○○○○)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
	●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
	●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向 (行政や業界などの動き) について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
	●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
	●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当
	サブカテゴリー 2 (2 - 2)		
	実践的な計画策定に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	3 / 5
	評価項目 1 事業所が目指していること (理念・ビジョン、基本方針など) の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している 評点 (○○●)		
	評価	標準項目	
	○あり ●なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること (理念・ビジョン、基本方針など) の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
	●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
	●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当
	評価項目 2 着実な計画の実行に取り組んでいる 評点 (○●)		
	評価	標準項目	
	○あり ●なし	1. 事業所が目指していること (理念・ビジョン、基本方針など) の実現に向けた、計画の推進方法 (体制、職員の役割や活動内容など) 、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当
	●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し (半期・月単位など) 、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当

カテゴリー 2 の講評

法人とともに園は保育に関する情報を収集して把握しています

年度末に保護者にアンケートを実施して、利用者の状況やニーズを把握しています。日頃より、子どもの送迎時に保護者に声掛けを行い意見を聞くようにしており、行事の後にはアンケートを実施して課題などの確認を行っています。職員に対して年度末に面談を実施して、職員の意向を聞く機会を持っています。地域の保育園の連絡会や区が主催する会議に出席して、保育の状況を把握しています。把握したニーズなどを法人の責任者と話し合い、園としての課題を検討しています。

園の課題を把握し事業計画を作成しています

園が抱える課題を法人の責任者とともに把握しています。園が目指している中長期展望を確認していますが、中・長期計画として明文化していません。単年度の事業計画を策定して、予算編成を行っています。事業計画には具体的な施策を載せていませんが、施策は全体的な計画などの保育計画に反映しています。

保育園運営の実行に取り組んでいますが、達成度合いを測る指標は明確ではありません

園では職員が働きやすい施策を実行しています。職員の残業をなくし、仕事を自宅に持ち帰らないように推進しています。働きやすい環境となっているかどうかの進捗を、職員との面談により確認しています。計画の進捗を確認していますが、進捗度合いを測る指標が明確になっていないため、関係者間での進捗の程度を共有することは難しい状況です。

3

カテゴリー 3

経営における社会的責任

サブカテゴリー 1 (3 - 1)

社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

2 / 2

評価項目 1

社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる

評点 (○○)

評価

標準項目

●あり ○なし

1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳を含む）などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる

○非該当

●あり ○なし

2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳を含む）などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。

○非該当

サブカテゴリー 2 (3 - 2)

利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

4 / 4

評価項目 1

利用者の意向（意見・要望・苦情）を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている

評点 (○○)

評価

標準項目

●あり ○なし

1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている

○非該当

●あり ○なし

2. 利用者の意向（意見・要望・苦情）に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある

○非該当

評価項目 2

虐待に対し組織的な防振対策と対応している

評点 (〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当

サブカテゴリー 3 (3 - 3)

地域の福祉に役立つ取り組みを行っている

サブカテゴリー毎の

標準項目実施状況

4 / 5

評価項目 1

透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる

評点 (〇●)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当
○あり ●なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当

評価項目 2

地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている

評点 (〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク (事業者連絡会、施設長会など) に参画している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当

カテゴリー 3 の講評

職員に倫理等を周知して、その遵守に取り組んでいます

職員の入職時に、法人から就業規則を提示して社会人として守るべきことを伝えていきます。子どもの権利を積極的に守るために、理念などをもとに職員に説明しています。職員会議では発生した不適切な事例などを取り上げて、守るべき規範・倫理等を伝えて確認しています。

保護者の意見・要望を把握して、迅速に対応しています

苦情解決手順や保育園以外にも相談できることを保護者に伝えていきます。重要事項説明書を説明する際に、「苦情解決の流れ」の記載に沿って詳しく話しています。「苦情解決ファイル」にその記録を残しています。虐待の早期発見と防止について、関係部署と定期的な会議参加などで連携を取っています。子どもの送迎時に相談できるように配慮して保護者に話しかけています。保護者からの意見をもとに、スロープの改善も行い感謝されています。園からの「お便り」を保護者に配り、保護者からの意見にも対応しています。

園は地域と交流し、地域の福祉に役立つように努力しています

「園だより」やお知らせを配布するようにしています。園の周辺道路を掃除して近隣とのコミュニケーションに努め、子どもの散歩で挨拶を交わして地域の方と交流しています。小規模保育園のため、実習生受け入れや小中学校生の見学・体験の希望はありません。地域の小規模保育連絡会や第6号地区協議会に参加して情報共有を行い、協働して地域貢献に取り組んでいます。

4	カテゴリー 4		
	リスクマネジメント		
	サブカテゴリー 1 (4 - 1)		
	リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 4 / 5
	評価項目 1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる 評点 (○○○○●)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク (事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など) を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
	●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
	○あり ●なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画 (BCP) を策定している	○非該当
	●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
	●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当
	サブカテゴリー 2 (4 - 2)		
	事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 4 / 4
	評価項目 1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている 評点 (○○○○)		
	評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員 (実習生やボランティアを含む) が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当	
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・管理している	○非該当	
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当	
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当	
カテゴリー4の講評			
<u>マニュアルを整備して、事故や感染症等のリスクに対応しています</u> 園は「災害時事故防止対応マニュアル」などを整備して事故や感染症等のリスクに対応しています。足立区のハザードマップをもとに災害対応を検討しています。毎月防災訓練を行い、避難ルートは通常のルートだけでなく、万一を考えて別のルートを使って訓練しています。AEDも備えて使用方法についての研修を行い備えています。感染症発生の場合には状況を掲示して保護者に伝えて、まん延防止に努めています。職員会議などで起こりうるリスク対応の優先順位や必要な対策を話し合っ確認しています。			
<u>事業継続計画 (BCP) の作成と関係者への周知には至っていません</u> それぞれの災害や事故への対応を検討していますが、園を継続するための事業継続計画 (BCP) を作成していません。リスクに対する予防や発生時の対応を確認していますが、想定外のリスクや園の遠方で発生しているリスクへの対応、発生の段階ごとの対応などの総合的なBCPを作成していません。現在まで想像を超えた危機的な災害などのリスクが発生			

	しておらず、その要因分析は行われていません。園ではおかれている環境や他の発生事例などを話し合っ て検討しています。 個人情報などの情報管理を適切に行うよう努めています 子どもや家庭の個人情報を扱っているため、守るべき事項について就業規則などを職員に説明して理解を徹底して います。園が得ている情報は鍵のかかる部屋に保管して管理しています。警備会社と契約するとともに、園内の施設管理の ルールを決めて、漏洩防止などに努めています。個人情報管理については、職員だけでなく保護者などにも重要事項説 明書を用いて詳しく説明して、理解を求め同意を得ています。																																												
5	カテゴリー 5 職員と組織の能力向上 サブカテゴリー 1 (5 - 1) 事業所が目指している経営・サービスを実現する 人材の確保・育成・定着に取り組んでいる サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 1 1 / 1 2 評価項目 1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている 評点 (○ ●) <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○あり ●なし</td><td>1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に 取り組んでいる</td><td>○非該当</td></tr> </tbody> </table> 評価項目 2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している 評点 (○ ○) <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望 (キャリアパス) が職員に分かりや すく周知されている</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望 (キャリアパス) と連動した事業所 の人材育成計画を策定している</td><td>○非該当</td></tr> </tbody> </table> 評価項目 3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる 評点 (○ ○ ○ ○) <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成 (研修) 計画を策定している</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成 (研修) 計画へ反映している</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援 を行っている</td><td>○非該当</td></tr> </tbody> </table> 評価項目 4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる 評点 (○ ○ ○ ○) <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇 (賃金・昇進・昇格等) ・称賛などを連動さ せている</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>2. 就業状況 (勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど) を把握し、安心して働き続 けられる職場づくりに取り組んでいる</td><td>○非該当</td></tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		○あり ●なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当	●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に 取り組んでいる	○非該当	評価	標準項目		●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望 (キャリアパス) が職員に分かりや すく周知されている	○非該当	●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望 (キャリアパス) と連動した事業所 の人材育成計画を策定している	○非該当	評価	標準項目		●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当	●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成 (研修) 計画を策定している	○非該当	●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成 (研修) 計画へ反映している	○非該当	●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援 を行っている	○非該当	評価	標準項目		●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇 (賃金・昇進・昇格等) ・称賛などを連動さ せている	○非該当	●あり ○なし	2. 就業状況 (勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど) を把握し、安心して働き続 けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当
評価	標準項目																																												
○あり ●なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当																																											
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に 取り組んでいる	○非該当																																											
評価	標準項目																																												
●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望 (キャリアパス) が職員に分かりや すく周知されている	○非該当																																											
●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望 (キャリアパス) と連動した事業所 の人材育成計画を策定している	○非該当																																											
評価	標準項目																																												
●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当																																											
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成 (研修) 計画を策定している	○非該当																																											
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成 (研修) 計画へ反映している	○非該当																																											
●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援 を行っている	○非該当																																											
評価	標準項目																																												
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇 (賃金・昇進・昇格等) ・称賛などを連動さ せている	○非該当																																											
●あり ○なし	2. 就業状況 (勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど) を把握し、安心して働き続 けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当																																											

●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当
サブカテゴリー2 (5 - 2)		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 3 / 3
評価項目 1		
組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点 (○○○)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○非該当
カテゴリー5の講評		
<u>園に必要な人材を確保して、その育成計画を策定しています</u> 地域からの人材が集まり、工夫なく家庭を持った保育経験者確保につながっています。園の状況を踏まえて本人と話し合い、園にとって必要な人材確保に取り組んでいます。法人内の複数園での職員異動の可能性もあります。園が必要とする人材構成のために、職員の希望を聞き、課題を確認して研修計画に反映しています。研修は区役所などからの情報も集めて、対象研修を決めています。研修計画は7項目の視点から、課題(内容)、目的、研修名を明確にする計画となっています。職員からも「研修機会が与えられている」と評価されています。		
<u>人材育成に努め、職員の意欲向上に繋げています</u> 職員には勤務シフトとの調整など様々な方法で研修に参加できるようにしています。研修を受けた職員は全員で研修内容を確認しています。小規模園での情報共有を通じてコミュニケーションも十分に図られ、働きやすい職場になるよう努めています。研修計画では個人別に計画を話し合い、自己評価や面談による成果確認により人材育成を行っています。福利厚生や有給休暇取得などで働きやすく、職員の意欲向上へ結びつくよう取り組んでいます。		
<u>職員の学びや気づきを園全体で共有して、チームワークを育てています</u> 研修を受けた職員は職員会議とは別に研修報告会を開き、全員で研修内容の共有を行っています。クラスを2人で担任して、お互いに意見交換しながら保育に取り組んでいます。園の行事でも担当制にして、お互いに助け合うように工夫しています。職員が責任を持ち相談しながら行事等を推進していく中で、助けられたことを次には協力しようとする職員の関係が出来ています。		

7	カテゴリー7	
	事業所の重要課題に対する組織的な活動	
	サブカテゴリー1 (7 - 1)	
	事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている	
	評価項目 1	
	事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている (その 1)	
	前年度の重要課題に対する組織的な活動 (評価機関によるまとめ)	
	子どもに対して「家庭的な環境の中で豊かな経験ができるようにする」活動を目指してきました。小規模の保育園として、愛着形成が必要と考えて、この課題を取り上げています。 具体的な活動としては、年齢別にクラス分けを実施しました。小規模園ではスペースに限りがあり難しい中で、仕切りなどの工夫により0、1歳児と2歳児を分けて、クラス担任制としました。年齢によって活動にも、時間差を配慮しています。年齢ごとの子どもの成長を見守るために、その担任が月案・週案も作成して保育を行うようにしました。	
	目標の設定と 取り組み	●具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ○具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ○具体的な目標が設定されていなかった
	取り組みの検証	●目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ○目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった (目標設定を行っていなかった場合も含む) ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
	検証結果の反映	●次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ○次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
	評価項目 1 で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評	
	クラス分けで子どもの年齢に合った活動を取り入れることが出来ました。担任制により、その子の成長が具体的に見ることが出来るようになりました。その結果、子どもの活動に、年齢による差が出るようになり、成長の過程が明確になりました。保護者にもその成長を明確に見ていただけるようになりました。 この成果をもとに、「家庭的な環境の中で豊かな経験ができるようにする」ために、次年度も担当制を継続しつつ改善していくことに繋げています。	

評価項目 2 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている（その2） 前年度の重要課題に対する組織的な活動（評価機関によるまとめ）	
「子どもたちに豊かな経験を持たせること」を課題として、職員の体制を変えて対応しました。今までは1人で対応するため苦勞が多くつらいこともありましたので、年齢ごとに職員2名で担当することになりました。この2名が誕生会、行事、製作などを担当して、子どもが多く経験できる活動に繋げてきました。2人で担当することで、お互いに話し合い、相談する時間を取るようになりました。	
目標の設定と 取り組み	●具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ○具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ○具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	●目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ○目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった（目標設定を行っていなかった場合も含む） ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	●次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ○次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
評価項目 2 で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評	
職員が2人で担当することにより、2人で話し合い企画や活動に工夫がみられるようになりました。結果として、子どもが今まで以上の数多くの経験ができる活動につながりました。職員が一人で悩むのではなく、話し合いながら進めることで、分担して負担も少なく協力し合う体制が出来ました。行事等をそれぞれが担当することで、担当する苦勞も解り、職員が協力し合う雰囲気が出来て、チームワークにつながりました。 今後も、担当制を継続して、行事などを前回と異なる担当にすることで、ノウハウの共有化、協力体制維持を行うように計画しています。	

〔サービス分析：小規模保育事業〕

Ⅱ サービス提供のプロセス項目（カテゴリ-6-1～3、6-5～6）

No	共通評価項目		
1	サブカテゴリ-1		
	サービス情報の提供	サブカテゴリ-毎の 標準項目実施状況	4 / 4
	評価項目 1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		
	評点 (○○○○)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	○非該当
	●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている	○非該当
	●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	○非該当
	●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○非該当
	サブカテゴリ-1の講評		
2	サブカテゴリ-2		
	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリ-毎の 標準項目実施状況	6 / 6
	評価項目 1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		
	評点 (○○○)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当

	●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得ようとしている	○非該当
	●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当
	評価項目 2		
	サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点 (○○○)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
	●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	○非該当
	●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	○非該当
	サブカテゴリー 2 の講評		
	入園前に説明会または個別面談を行い、園の重要事項など説明し同意を得ています サービス開始にあたり、保護者と入園前説明会（途中入園の場合は個別面談）を実施し30分程かけて、「重要事項説明書」および「入園のしおり」を使用し説明しています。重要事項説明書では、理念、施設概要、保育計画、行事予定、一日の流れ、アレルギー対応、衛生管理、感染症対策、健康診断、要望・苦情、その他園利用に際し留意いただきたいこと等について丁寧に説明することに努め、同意のサインをもらっています。また個人情報の取り扱い（子どもの情報、写真等）について、別紙にて同意書、承諾書を得て、必要に応じて情報開示を行っています。 慣らし保育について保護者の意向などくみ取りながら柔軟に実施しています 入園直後、保護者と連携し子どもの負担が軽減され、無理なく集団保育（園生活）に入れるよう配慮しています。面談時、子どもの状況を丁寧に聴き、慣らし保育の大切さを理解してもらっています。慣らし保育の期間は、2週間程度を基本としていますが、保護者の方の勤務状況等を配慮し、個々に対応していくようにしています。家庭で子どもが心理的抛り所になっているタオルなどがある場合には、園に持ち込むことで安心して園生活に慣れていけるように配慮しています。職員は子ども一人ひとりの情報を共有して、子どもや保護者への対応を大切にしています。 途中退園や卒園によるサービス終了時には、支援の継続性に配慮しています サービス終了時には、子どもや保護者に継続的な支援を行なうために、必要に応じて面談を行なっています。また区の情報提供や卒園後の区の先行利用調整ができること等を説明し、子どもが次の場所に不安なく移行できるように配慮しています。また、園として「おわかれ会」の実施や職員からメッセージを送ったり、また園での思い出をまとめた冊子「思い出帳」をプレゼントしたり、子どもの心に寄り添った保育に努めています。卒園後の園の情報収集を行い、選ぶ際の参考にしてもらえようようにしたいと園として考えており、今後の取り組みに期待します。		
3	サブカテゴリー 3		
個別状況の記録と計画策定		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 1 2 / 1 2	
評価項目 1			
定められた手順に従ってアセスメント（情報収集、分析および課題設定）を行い、 子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している			評点 (○○○)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している		○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている		○非該当

評価項目 2

全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している

評点 (○○○○○)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護 (生命の保持・情緒の安定) と教育 (健康・人間関係・環境・言葉・表現) の各領域を考慮して作成している	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況 (年齢・発達の状況など) に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	○非該当

評価項目 3

子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点 (○○)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

評価項目 4

子どもの状況等に関する情報を職員間で共有している

評点 (○○)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当

サブカテゴリー 3 の講評

子どもの心身状況や生活状況を把握し、児童票などに記録しています

子どもの心身状況や生活状況は、入園時に保護者に提出してもらった家庭状況書や健康記録 (病歴・予防接種の記録やアレルギー) などにより把握しています。入園後は、れんらくノート、保育日誌、児童票などに記載し子どもの日々の生活や遊び、成長を記録しています。保護者のニーズは、主に日々の送迎時の会話やれんらくノートから把握するよう努めており、要望に合わせて個人面談も実施しニーズを把握しています。アセスメントの見直しは、年度当初を基本としていますが、保護者側から情報提供があった場合など必要に応じて見直しを行っています。

クラス会議や職員会議で話し合い、年間指導計画、月間指導計画、週案を作成しています

全体的な計画は、養護 (生命の保持・情緒の安定)、教育 (健康・人間関係・環境・言葉・表現)、食育 (食を営む力の基礎) を踏まえ作成しています。この全体的な計画に基づき、クラス会議やクラス会議で話し合い、年間指導計画、月案、週案、個人別指導計画を作成し、日々の保育を実践しています。これら計画は、前月の子どもの様子の記録と週毎の評価・反省や保護者とのやり取りなども考慮し、クラス会議などで見直しを行っています。子どもたちの活動内容含め、日々の送迎の際に、それぞれの保護者にわかりやすく伝えるよう努めています。

クラス会議や職員会議などで子どもの状況などを話し合い、職員間で認識を共有しています

子ども一人ひとりに関する情報は、児童票に記録し、一人ひとりファイリングしています。保護者とのやり取りで子どもの変化などを把握した場合は、クラス担任と園長が中心となって月案など計画を見直ししています。毎月実施している職員会議やクラス会議において、活動内容や子どもの様子などを話し合い、職員が共通の認識を持って保育に取り組めるよう努めています。会議録は非常勤を含む職員全員が確認し、共通認識がもてるようにしています。会議録などから職員がさまざまな視点で話し合っている様子がうかがえました。さらなる取り組みに期待します。

5

サブカテゴリ-5

プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

サブカテゴリ-毎の
標準項目実施状況

5 / 5

評価項目 1

子どものプライバシー保護を徹底している

評点 (○○)

評価

標準項目

●あり ○なし

1. 子どもに関する情報 (事項) を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている

○非該当

●あり ○なし

2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている

○非該当

評価項目 2

サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している

評点 (○○○)

評価

標準項目

●あり ○なし

1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している

○非該当

●あり ○なし

2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている

○非該当

●あり ○なし

3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている

○非該当

サブカテゴリ-5 の講評

個人情報の取り扱いや子どものプライバシーの配慮に努めています

入園時に、個人情報の取り扱いについて、別紙「同意書」の規定をもとに保護者に説明し、子どもに関する情報を外部とやり取りする必要がある場合には、保護者に同意を得た上で対応しています。子どもへの羞恥心への配慮として、着替えやおむつ替えの時は、トイレ内のスペース等、他者からの視線が少ない場所で行うなど配慮しています。また夏のプール・水遊びは、建物の構造上、園の入口横の車道・歩道に面したスペースで実施していますが、すだれやシートを使用して目隠しをし、外部から視線が入らないよう十分配慮して行っています。

文化による生活習慣などについて保護者の意向等確認しながら対応するよう努めています

人格を尊重する視点から、子どもの名前は呼び捨てにしないことを職員間のルールとし、子どもが自己肯定感を持てるよう、意識した言葉かけや保育を心掛けています。また地域の特徴として、小規模園ながら複数の外国籍の子どもが在籍しています。文化による生活習慣、食の違いなどもあり、保護者のさまざまな意向等を確認しながら対応するよう努めています。外国籍の子どもが今まで食べたことがない日本の食材でも、子どもに寄り添いながら対応することで、徐々に食べられるようになっていきます。

虐待対応マニュアルが整備され、園内研修会などを通じて理解を深めています

「虐待対応マニュアル」が整備されており、発生のポイント、虐待が疑われた場合の対応、チェックシート記載、通報・連絡先など各段階に分かれて記載されています。マニュアルは園内に置かれ、職員はいつでも確認することができます。日々の送迎時や着替え時など、子どもや保護者と関わる際に早期発見に努めるほか、区の協議会・連絡会の虐待に係る研修会等に職員が参加し園内研修として報告会を実施したり、理解を深めるよう努めています。支援が必要と思われる場合には「足立区子ども支援センターげんき」などと連携して対応できるようにしています。

6

サブカテゴリ-6

事業所業務の標準化

サブカテゴリ-毎の
標準項目実施状況

5 / 5

評価項目 1

手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

評点 (○○○)

評価

標準項目

●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当
評価項目 2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている 評点 (○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当
サブカテゴリー 6 の講評		
<u>各場面での対応手順など整備し、職員がいつでも確認できるようにしています</u> 小規模園として各種手順・マニュアル(保健・衛生、食物アレルギー緊急時、感染症、事故防止・安全管理、虐待、苦情処理等)があり、各場面での対応手順を整備しています。これらは基本的に職員に配付していないが、いつでも確認できるよう園内保管し、わからないことが起きた時は園長や主任に相談し助言を受けたり、職員同士で再確認しています。園における日常の保育等手順をまとめた基本マニュアルのようなものではありません。日常的に供えておくべき点について手順の再確認・整備、職員全員で振り返る機会を設ける等、今後の取り組みに期待します。		
<u>手順等の見直しを行った際の最新版管理の仕組みを整備する等の取り組みが期待されます</u> 園として、毎年度末を基本にしているが、必要に応じて手順等の見直し検討を行っています。見直した内容は、職員会議や回覧などで職員に周知しています。園としては、特に見直し基準は定めておらず、必要に応じて実施することとしており、職員自己評価における「手順等の見直し基準」においても十分とはいえない結果となりました。今後の手順・マニュアル活用に向けた取り組み含め、手順の見直しルールを定め、また見直しを行った際の各手順の最新版の管理を行う仕組みを整備する等、今後の取り組みに期待します。		
<u>職員や保護者等からの声を手順等の見直しにも反映しています</u> 毎日の送り迎えや連絡帳など保護者からの声を聴く姿勢を持つことに努め、必要に応じて見直しを行っています。その中で「園入口スロープの設置(変更)」について、子どもの送迎時にすべりやすいとの保護者から意見・提案を受け、園で検討し、すべりにくい素材のものに変更するなど、保護者からの意見等の反映に努めています。また職員会議などであった意見・提案についても、検討し、必要に応じて手順の見直し等を行っています。		

III サービスの実施項目 (カテゴリー 6-4)

		サブカテゴリー 4	
サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 3 4 / 3 4	
1	評価項目 1 子ども一人ひとりの発達状態に応じた保育を行っている 評点 (○○○○○)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	
	●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	
	●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	
	●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども (障害のある子どもを含む) の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	
	●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル (けんか・かみつき等) に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	
評価項目 1 の講評 <u>子ども一人ひとりを把握し、成長に合った空間になるよう環境設定しています</u> 担任保育士は、子どもの全体的な姿を家庭と園と両面から把握することに努めています。入園時の面談では、子どもの生活状況や成育歴を把握し、保護者から入園にあたっての不安や心配事なども聞いています。送迎時の保護者との会話やれんらくノートの記載事項から、子どもの家での様子や保護者の意向、価値観を理解するように努め、子どもに合った声かけをしています。保育室は広く使いやすい空間になるよう保育士が工夫を凝らしており、体を自由に動かして遊べるカーベットのスペースやゴロゴロと横になってリラックスできるスペースもあります。			
<u>異年齢の子どもたちがお互いの活動を目にしなが、相互に刺激して成長しています</u> 0歳児と1、2歳児は隣り合った空間で生活しており、小さい子どもは大きい子どもが活動している姿を見ることが出来るため、自分も真似しようとし、大きい子どもは0歳児を見て接し方や優しい心を学んでいます。0歳児の高月齢児が1、2歳児と一緒に活動することもあり、子どもが年齢に合った遊びができるように工夫しています。乳児には担当保育士制を取り、特にスキンシップを大切にしています。ボールや音の出る玩具は子どもの人数を考慮して十分な数を用意し、読みたい本を見つけることができるようタイトルが見えるような本棚を置いています。			
<u>発達の過程で起きがちなトラブルに対処し、子どもの気持ちを受け止めた支援をしています</u> 保育士は常に子どもの気持ちを受容し、発達に応じた環境設定の下、必要な援助をしています。発達面で気になる子どもについては専門機関のアドバイスをもらうことも可能で、配慮事項を指導計画に盛り込んで保育に活かしています。文化や生活習慣の違う外国籍の親を持つ子どもには、自然な形で異文化に親しめるようにし、双方の理解が深まるようにしています。喧嘩だ喧嘩れたなど、子どもの成長過程で起きる子ども同士のトラブルの数は多くありませんが、保育士がタイミングよく声かけし双方の気持ちに寄り添い、言葉を添え気持ちを伝えています。			
2	評価項目 2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている 評点 (○○○○)		
	評価	標準項目	

	●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当																					
	●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排泄などの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当																					
	●あり ○なし	3. 休息（昼寝を含む）の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当																					
	●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当																					
評価項目2の講評																								
<u>登園時、降園時には保護者と会話し、連絡帳等で子どもの様子を伝えあっています</u> 登園時の受け入れでは、子どもの健康状態を中心に保護者に確認をしています。れんらくノートに記載された家庭での子どもの様子、食事、排便、睡眠、健康状態について確認するだけでなく、家庭での子どもの様子を保護者に聞き、ノートに書ききれなかった事柄も保育に活かせるようにしています。朝の子ども様子から午前睡を取ったり、設定保育の内容を変更することもあります。保育時間が長い子どもは交代によって複数の職員が引継ぐことになり、降園時の保護者への伝達は、受け入れ表、個人記録、れんらくノートで伝え口頭でも様子を伝えています。																								
<u>保護者の協力のもと、発達に応じた基本的な生活習慣が身につくようにしています</u> 園長は日常の保育活動に入って園全体を統括しています。小規模園の良さを活かし、個人差に配慮した支援、発達に応じた援助をしています。月齢に合わせて無理なく過ごせるように休息の時間を取り、手洗いや食後のうがい、歯磨きもその子の個性に合わせて保育士が促しています。離乳や排泄自立への取り組みも、れんらくノートを用いて家庭との連携を密にし、園と家庭が歩調を合わせて取り組めるようにしています。また、子どもの発達段階について保護者からの質問もあり、その際園長はゆっくり成長するケースも多い事を伝えています。																								
<u>家庭での睡眠時間や子どもの体調などを考慮し、適切な休息が取れるようにしています</u> 午睡は、子ども一人ひとりの生活リズムや年齢、活動内容によって柔軟に対応しており、特に乳児は月齢で大きく違うことを保育士は理解し、複数担任が連携しながら、きめ細やかに対応しています。午前中に園の内外でたっぷりと活動しているため、昼食後はぐっすり眠る子どもの姿が見られています。活動内容や子どもの体調で休息時間を調整し、安心して心地よく眠りに入れるように、静かな環境を作って眠りに誘っています。午睡中は必ず保育士が子どものすぐ近くにおり、様子を観察しています。																								
3	評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している 評点(○○○○○○) <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">評価</th> <th style="width: 75%;">標準項目</th> <th style="width: 10%;"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している</td> <td>○非該当</td> </tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当	●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当	●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当	●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当	●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当	●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当
評価	標準項目																							
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当																						
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当																						
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当																						
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当																						
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当																						
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当																						
評価項目3の講評																								
<u>少しずつ様々な体験をすることで、子どもたちが心身ともに成長できるようにしています</u> 保育の基本理念に「一人一人の個性を尊重した保育」、「人との関わりを大切に、心身の成長を助長する保育」を掲げており、園長はじめ保育士は「沢山の経験から豊かな人間性を育てたい」と考え、「愛着関係の醸成と、丈夫な体																								

	をつくる」の実現をめざしています。子どもたちが少しずつ様々な体験をすることで成長してほしいと考え、保育室が自発的な遊びの場になるように工夫しています。当園の特徴として、子育て経験のある保育士、多彩なベテラン保育士が多く、行事の運営やクラスの保育内容を意見交換し、検討する機会も増えています。														
	<u>制作は様々な素材で自由に表現できるようにし、遊びが発展するようにしています</u> 保育士は、朝の会の歌や製作、散歩、行事などを通して感謝や思いやりの心、社会性を育ててほしいと考えており、年齢別保育では、担任保育士の働きかけで、集中力や考える力を身に着けることができるようにしています。子どもたちに合った玩具を用意したいと考え、発達や興味に合った玩具を季節で入れ替えをし、保育士が購入したい絵本や玩具を提案することもあります。粘土、型はめ、パズル、人形、紐通し、ボールを使った玩具などを棚に納め、取り出して遊べるようにし、クレヨン、空き箱、落ち葉や木の実など様々な素材での自由制作もあります。														
	<u>毎日公園に出かけ、広い場所で体を動かし、季節により移り変わる自然に触れています</u> ビルの1階にある園のせいか、毎年保護者から「外遊びはどこでしますか」との質問がでます。天気のいい日は散歩に出かけ、公園で外遊びの時間を作っています。近隣には大小様々な公園があり、保育士が園児と一緒に駆け回っています。散歩先の公園で子どもたちはボール遊び、固定遊具や乗り物などに熱中しており、安全に配慮してルールを守って遊べるように保育士が手本を見せています。桜や新緑を楽しめる木々に囲まれ自然豊かな公園や、季節の色とりどりの花壇や珍しい形の葉、木の実や昆虫に出会える公園もあり四季の移り変わりを感じています。														
4	評価項目 4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している 評点 (○○○) <table><tr><th>評価</th><th colspan="2">標準項目</th></tr><tr><td>●あり ○なし</td><td>1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している</td><td>○非該当</td></tr><tr><td>●あり ○なし</td><td>2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している</td><td>○非該当</td></tr><tr><td>●あり ○なし</td><td>3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている</td><td>○非該当</td></tr></table> 評価項目 4 の講評 <u>七夕会、クリスマス会、正月、ひな祭りなどの季節行事や毎月の誕生会を行なっています</u> 子どもの日、七夕会、秋祭り、ハロウィン、クリスマス会、正月、節分の豆まき、ひな祭りなど季節行事や毎月の誕生会は子どもたちが楽しめるように工夫しています。誕生会では、誕生児にカードを渡し、職員のピアノ伴奏で「ハッピーバースデー」を唄って祝う家庭的な会となっています。職員が、歌や手遊び、パネルシアター、ペープサートなどの出し物を披露しています。園の温かさが伝わる行事は保護者にも好評で、特に保育士の参加は恒例となっており、ハンドベル、ウクレレ演奏もあり、クリスマス会ではコスチュームを身に着け劇を披露しました。 <u>夏祭りやクリスマス会などの行事は子どもたちが主役となり頑張った事を披露しています</u> 夏祭りは、金魚すくい、ボーリング、輪投げ等ゲームやスタンプラリーに親子が参加して楽しむ企画で、子どもたちも制作に参加し、保育室の壁面を祭りらしく装飾して雰囲気を楽しんでいます。たっぷり遊んだ後には、人気のおやつ「豆乳くずもち」を親子で食べ、盛りだくさんの企画だったが、保育士が連携良く動き、無事終了しました。クリスマス会では更に充実を見せ、日頃の保育で馴染んだ歌やリズム体操、絵本を題材とした短い劇を披露し、乳児も安全に楽しめるよう企画しました。子どもたちは最後まで頑張って多くの拍手をもらう体験をしました。 <u>園行事に多くの父母や家族が参加し、一緒に楽しめるように企画しています</u> 園の行事は、保護者と共に子どもの成長を感じることができるようになっており、いずれも無理せず雰囲気を楽しめるように職員が入念に準備をしています。クリスマス会では、0歳児が親子で前に出て、リズムに合わせて体を動かし、1、2歳児も飾りつけと衣装を着てリズム体操や歌で遊んだあとは、親子でクリスマスサンタを制作し、蒸しパンケーキに			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当	●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当	●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価	標準項目														
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当													
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当													
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当													

	デコレーションをして楽しめました。夏祭りも親子で人気のおやつ「米粉のおやき」「豆乳くずもち」を試食しています。保護者参加の行事は早めに案内し、多くの父母や家族が参加できるように配慮しています。		
5	評価項目 5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点 (〇〇)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
	●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
	評価項目 5 の講評		
	保育時間の長い子どもには少人数での遊びや保育士との関わりを増やして対応しています 開所時間は朝7時30分から18時30分までです。遅い時間帯の保育は子どもたちが合同で過ごしますが、その日の0歳児の人数などによって一緒に過ごす時間を微調整し、子どもがリラックスできることを第一に考えています。一人で遊べるプラレールなどの玩具も用意し、お迎えを待つ子どもが寂しい思いをせず過ごせるようにしています。昼の活動で疲れている時や眠くなった時にゴロンと横になれる環境もつくり、元気に動く子どもとの活動を仕切るなど、細かい配慮をしています。		
6	評価項目 6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点 (〇〇〇〇)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
	●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
	●あり ○なし	3. 子どもの体調（食物アレルギーを含む）や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
	●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み（食材の栽培や子どもの調理活動等）を行っている	○非該当
	評価項目 6 の講評		
	安全な食材を子どもに好まれる味付けで調理し、彩りよい美味しい食事を提供しています 献立はバランスの良い季節感のあるもので、家庭と園が連携して子どもたちの心と体づくりを進めていきたいと考えています。安全性を重視した新鮮な食材で、彩りよい給食を心掛けています。園の調理室は保育室に隣接しているため、調理担当職員も子どもたちの様子を感じながら調理をしています。苦手な食品がある子どもも完食の達成感を味わえるようにし、食事を楽しむことを大切に考えています。調理担当職員は、頼もしい存在として、保育士と連携良く働くよう努め、特に七夕やハロウィン、郷土料理などのイベント食は好評で残食はありません。		

	<u>アレルギー配慮食や体調不良時の対応は、個別に配慮した食事を提供しています</u> 食物アレルギーへの対応は入園時の保護者面談で聞き取った情報と主治医の指示書に基づき実施しています。アレルギー配慮食についての情報は掲示物で保育士が確認できるようにし、アレルギー食対応児のトレーの色と食器を変え、間違いが起きないようにしています。基本的に代替え食の提供ですが、皆で同じものを食べたいとの子どもの気持ちにも配慮し、調理担当職員が工夫をしています。体調不良の子どもには軟飯など対応食を提供しています。おやつも手作りで提供しています。		
	<u>担当保育士制を取り、丁寧な対応で子どもが食への興味や関心を持てるようにしています</u> 年齢に応じた食育活動に取り組み、野菜を洗ったり、触ったり、スタンプをして制作したりと、子どもが実際に食材に触れる機会を作っています。子どもの成長に合わせた食器を用意し、保育士が側に付いて介助したり、声をかけ自分でスプーンやフォークを使って食べる意欲を引き出しています。一人の保育士が3人から4人の子どもを担当する担当制を敷いており、授乳の間隔や離乳食は保護者に確認しながら離乳食進行表を作成して進めています。離乳食は家庭で食べた食材を園で提供しており、離乳初期から中期、後期、幼児食へと細かい配慮をしています。		
7	評価項目 7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している 評点 (○○○)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
	●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
	●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み (乳幼児突然死症候群の予防を含む) を行っている	○非該当
	評価項目 7 の講評		
	<u>子どもたちに手洗いや交通ルール、安全な遊び方などを教えています</u> 戸外遊び後の手洗いやうがいの励行も年齢に応じた方法で促し、感染予防につなげています。散歩に出かけるときは道の歩き方、横断歩道の渡り方、公園の遊具での遊び方など、子どもが自ら注意し事故やけがを避けることができるようにしています。戸外活動で公園に行った時に、保育士が固定遊具を実際に使って危ない使い方、安全な使い方を体得するようにしています。子どもが興味を持ってルールを理解できるように、絵本などを使って話すことも多く、食後の歯磨きなども保育士が良い手本となり、子どもたちの年齢に応じた方法で習慣づけています。		
	<u>嘱託医による定期健康診断やアドバイスにより、子どもの健康を守る支援をしています</u> 嘱託医の健康診断は入園時に1回、通常は年に2回実施し、子どもの病気に関するアドバイスも受けています。毎月の身体測定をして、測定値を保護者に知らせています。子どもの体調には十分注意し、緊急に受診が必要なケースでは嘱託医に連絡して対応できるようにしています。重要事項説明書には健康管理の留意点や保育中の発熱、怪我、感染症予防等について掲載しています。園での与薬は原則行っていないが、医師の処方薬に限り、与薬依頼表と共に一回分ずつ預かることもあり、相談に応じています。嘔吐物処理について職員研修を実施しています。		
	<u>健康に関する情報を提供し、睡眠時チェック表で乳幼児突然死症候群を予防しています</u> 園長手作りの園だよりには、行事予定やお知らせのコーナーを設け、子どもの健康管理、感染症、食中毒や熱中症など、家での保育に参考になる幅広い情報を掲載しています。イラストを加え、優しくかわいい紙面になるように工夫しています。乳幼児突然死症候群 (SIDS) の予防については、モニターを使用し、午睡チェックは、0歳児は5分ごとに、その他のクラスは10分おきに実施し、睡眠チェック表に記録しています。顔の向きやうつぶせ寝も記録し、小さな変化も見逃さないようにしています。午睡中は必ず保育士が同室に付き添い見守っています。		

8	評価項目 8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている 評点 (○○○○○)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
	●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
	●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
	●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
	●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当
	評価項目 8 の講評		
	<u>れんらくノートや写真、掲示物など、様々な方法で園での子どもの様子を知らせています</u> 園児全員について、れんらくノートを使用し、体温、その日の様子、体調変化を保育士が記入しています。その際保育士は子どもの表情や姿が保護者の目に浮かぶような記述を心がけています。園内に保護者連絡用掲示板を用意し、行事に必要な物やお知らせを掲示し、個人別のウォールポケットもあります。保育士は常に保護者とコミュニケーションを取り、保護者からいつでも話しかけて貰える存在でありたいと考えています。		
	<u>保護者の個別の事情に応じて、速やかに柔軟な対応を心がけています</u> 保護者の職場事情に配慮し、急な残業等によるお迎えの時間変更にも柔軟に対応し、延長スポット利用を認め、保護者の就労を基準に、受け入れ体制を作っています。年間行事予定表は入園時及び進級時に配付し、保護者参加の行事は、できる限り詳細を早く知らせて、予定を立てやすくしています。また、行事は保護者が参加しやすいよう日程を設定し、行事終了後には保護者の意見や要望を聞いています。今回の保護者アンケートの結果でも、園の柔軟な対応に感謝の声もあり、保護者が園の対応に満足している様子がうかがえます。		
<u>保護者の意見を聞くと共に保育のねらいを伝え同じ目線で子どもの成長を見守っています</u> 毎月の園だよりを保護者に配付すると共に掲示しています。送迎時には保育の様子を話し、園と家庭が同じ目線で子どもの成長を見守れるようにしています。昨年園で保護者アンケートを実施したところ高い回収率だったことから、保護者の関心の高さを知る機会となりました。保護者の要望から、園の玄関前にスロープを設置するなど改善にも積極的に取り組んでいます。年2回の大きな行事（夏祭り、クリスマス会）は、親子で思い切り楽しむことを目標にウクレレやペープサート、劇など職員の出し物にも工夫し、保護者同士の会話も弾むように工夫しています。			
9	評価項目 9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている 評点 (○○)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
	●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人々の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
	評価項目 9 の講評		
<u>散歩先などで子どもたちが地域の多様な人々と触れ合う機会を作っています</u> 子どもたちは、園見学などの来訪者や、散歩ですれ違う地域や商店の人々に挨拶をしています。子どもたちは、天気の良い日は必ず地域に出て公園などで遊んでおり、その頻度は非常に高くなっています。高齢者施設との交流なども視野に入れ、工夫しながら、地域とのかかわりを持って行きたいと考えており、今後の取り組みに期待します。			

地域の子育て世代向けの企画や育児相談等を検討しており、今後の取組みに期待できます

夏祭りなど園内で実施する行事に参加する保護者は多く、職員が知恵を出し合って楽しい行事となるよう企画しています。これらは保護者に大好評となっており、園は企画を発展させ、地域の子育て世代に向けた育児相談や、地域の親子が参加して歌や手遊び、手作りおもちゃなどもできると良いと考えています。楽しい企画と実行が待たれます。また、先日突然玄関に現れた地域の人の相談内容が、孫の事だったため、園長が対応し、しばらく話して帰ったという例があり「育児相談」等の必要性を実感しました。園長はじめ保育士が今後について検討しています。

〔事業者が特に力を入れている取り組み：小規模保育事業〕

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル①	様々な体験から成長してほしいと考え広い場所で体を動かす戸外遊びに力を入れています	
内容①	子どもたちが様々な体験をすることで成長してほしいと考え、発達や興味に合った玩具を揃え保育室が自発的な遊びの場になるようにしています。園の周囲には多くの公園があり、天気の良い日は必ず散歩に出かけ戸外で様々な遊びをしています。乳児が安全に遊べる公園もあり、桜や新緑の季節には指導計画に入れ自然に触れる機会をたくさん作っています。珍しい形の葉や木の実を持ち帰って制作に使っています。散歩先の公園で、子どもたちはボール遊びや固定遊具、乗り物などに熱中しており、しっぽ取りゲームでは保育士が園児と一緒に駆け回っています。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル②	保護者とのコミュニケーションに力を入れ、園と保護者の信頼関係を築いています	
内容②	保育士は常に保護者とコミュニケーションを取り、保護者からいつでも話しかけて貰える存在でありたいと考えています。保護者の職場事情に配慮し、急な残業等によるお迎えの時間変更にも柔軟に対応し、延長スポット利用を認め、保護者の就労を基準に、受け入れ体制を作っています。保護者の要望から園の玄関前にスロープを設置するなど、改善にも積極的です。行事は保護者が参加しやすいように日程を設定し、行事終了後には保護者の意見や希望を聞いています。この度の保護者アンケートの結果でも園の柔軟な対応に感謝の言葉が聞かれています。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-3-4	子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している
タイトル③	職員同士のコミュニケーションの機会を設け、情報の共有が図れるよう取り組んでいます	
内容③	職員の情報共有の場として、職員会議やクラス会議、「受入れ表」、「れんらくノート」などがあります。職員会議、日々のクラス会議や意見交換で、活動内容と子どもの様子などを話し合い、職員が共通の認識を持って保育に取り組めるよう努めています。「受入れノート」では、細かな対応時間とともに子どもの状況（体の状態、ケガをした等）や家庭・保護者の状況（送迎時間、忘れ物等）について詳細なメモにより職員間で共有を図り、「れんらくノート」では、職員が参加した研修報告概要や保育等手順の再確認など含め、職員間の情報共有を行っています。	

〔全体の評価講評：小規模保育事業〕

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	職員の働きやすい環境に努め、研修実施により、人材確保と育成に取り組んでいます
	内容	園は定期的に職員面談を行い職員の意向を聞いています。職員の状況に応じて、勤務シフト調整、有給休暇取得や残業ゼロにも取り組み、働きやすい職場環境に配慮しています。職員の意向に沿い、健康管理や福利厚生にも配慮して意欲向上につなげています。 職員には本人と相談して職員毎の課題把握を行い、計画的に研修に参加してもらっています。研修参加後は職員会議とは別に報告会を開き、情報共有して全員に浸透するとともに職員の意欲向上に繋げています。
2	タイトル	夏祭りやクリスマス会などの園行事は、保護者と子どもたちが参加して一緒に楽しめるようアイデア豊富な企画と入念な準備で実施しています
	内容	年2回の大きな行事（夏祭り、クリスマス会）は、ウクレレやペープサート、劇などの職員の出し物にも工夫をこらし、参加する保護者同士の会話が弾むようにしました。クリスマス会は、0歳児が保護者と一緒にリズムに合わせて体を動かし、1、2歳児も飾りつけと衣装を着けて歌やリズム体操を披露しました。その後は親子でクリスマスサンタを制作し、蒸しパンケーキにデコレーションをして楽しみました。参加の親子が園の温かい雰囲気を感じ、みんなで思い切り楽しむことを目標に職員全員がアイデアを持ち寄り、入念な準備のもと実施しています。
3	タイトル	0歳から2歳までの子どもが通う小規模園として愛着形成に特に力を入れ、担任・担当制を敷いて効果を上げています
	内容	小規模園の良さを活かし、家庭的な雰囲気の中、個々の子どもに寄り沿った保育を行っています。0、1、2歳の子どもが通う園として、子どもの愛着形成には特に力を入れ、一人の保育士が3人から4人の子どもを担当する担当制で良い効果を生んでいます。保育士は子どもをしっかりと抱きしめ、個人差を見ながら、生きる力を育てることを大切に考えています。子どもの授乳間隔や離乳食は保護者に確認しながら離乳食進行表を作成して進めています。担当保育士が進み具合を報告し、家庭と歩調を合わせることで子どもへの負担を軽減しています。

No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	園が目指している方向性などを中・長期計画として明文化し、関係者と共有し理解を得る事が期待されます
	内容	園は目指している理念や基本方針を明確に示しています。中・長期の展望等を職員に話していますが、明文化した中長期計画はありません。単年度の事業計画を作成して、予算計画も盛り込んでいます。計画内容の保育に関しては、全体的な計画で具体的な計画を示していますが、運営に関する施策が事業計画に明示されていません。職員や利用者が園の方向性や推進状況を共有化するためにも、中・長期計画の作成と周知が期待されます。また事業計画においても中・長期計画をもとにした単年度の施策を明示することが期待されます。
2	タイトル	手順の見直しルールと最新版管理を行う仕組み、および日常の保育等手順の再確認・整備を行う等、今後の取り組みに期待します
	内容	各種手順・マニュアル（アレルギー、感染症、事故防止・安全管理等）があります。各場面での対応手順がありますが、日常の保育等手順をまとめた基本マニュアルのようなものではありません。日常的に供えておくべき点について手順の再確認・整備、職員全員で振り返る機会を設ける等、今後の取り組みに期待します。また、それら手順等について、園として特に見直し基準は定めておらず、必要に応じて実施することとしており、手順の見直しルールを定め、見直しを行った際の各手順の最新版の管理を行う仕組みを整備する等、今後の取り組みに期待します。
3	タイトル	パンフレットやホームページに園の活動内容や保育の状況を掲載する等、利用希望者等への情報提供で今後充実が図られることを期待します
	内容	パンフレット、ホームページで利用希望者等に情報提供しています。それらは法人が作成した全園共通のものであり、保育理念、各園の所在地・連絡先、会社概要等イラストを用いながら紹介していますが、園の方針・目標、施設概要や活動内容等、園としての情報提供が少なく、どのような園かを把握することが難しい状況にあります。利用希望者等への情報提供において園として課題があると考えており、園での保育がイメージできるよう活動内容や保育の状況を掲載する等、今後充実が図られることを期待します。